

福島第一原子力発電所における不適合発生・処理状況について  
(2018年度第3四半期)

2019年2月15日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一原子力発電所

○2018年10月1日～12月31日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」は226件ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は60件\*です。

※2018年12月31日現在

○2017年8月1日～2018年9月30日の間にパフォーマンス向上会議で審議された「不適合」は475件ありました。そのうち、処置が完了した不適合件数は366件\*です。

※2018年12月31日現在

○不適合の発生及び処置状況の詳細については、添付資料参照

・添付資料-1

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2018年度第3四半期分  
(2018年10月1日～2018年12月31日)」

・添付資料-2

「福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 ホームページ掲載以降の過去分  
(2017年8月1日～2018年9月30日)」

○パフォーマンス向上会議において審議された全件名については、「不適合の公表区分」に応じて、プレス発表または当所ホームページ上において全数公表しております。

・添付資料-3

「2018年度不適合詳細(委員会確認日:2018年10月1日～2018年12月31日まで)」

＜原子力発電所における不適合の是正管理＞

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の施設定期検査や安全確保設備等の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。

その中で、「不適合」\*が発見された場合には、「不適合管理及び是正処置・予防処置基本マニュアル」に基づき、必要な是正処置等を講じることとしております。

\*不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。

不適合管理グレード分け(パフォーマンス向上会議にて決定)

- G I : 是正処置\*<sup>1</sup>・予防処置\*<sup>2</sup>を確実に実施すべき重要なことから
- G II : 是正処置\*<sup>1</sup>を確実に実施すべきことから
- G III : 修正処置\*<sup>3</sup>などを伴うことから
- 対象外 : 消耗品の交換等のことから

※1 是正処置: 不適合の原因を除去するための処置(=再発防止対策)

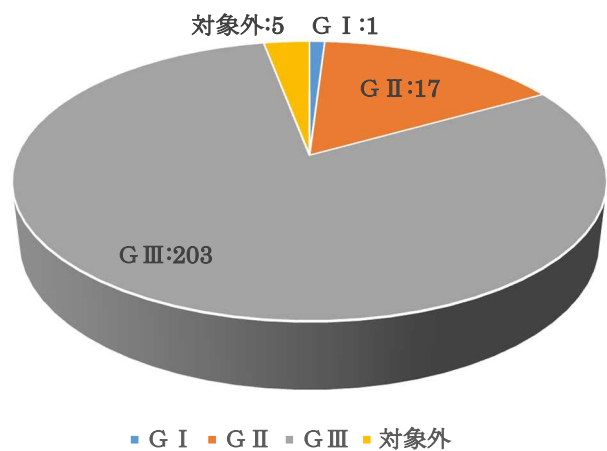
※2 予防処置: 是正処置を他発電所へ展開する処置(=水平展開)

※3 修正処置: 当該不適合を除去するための処置(=修理、修正)

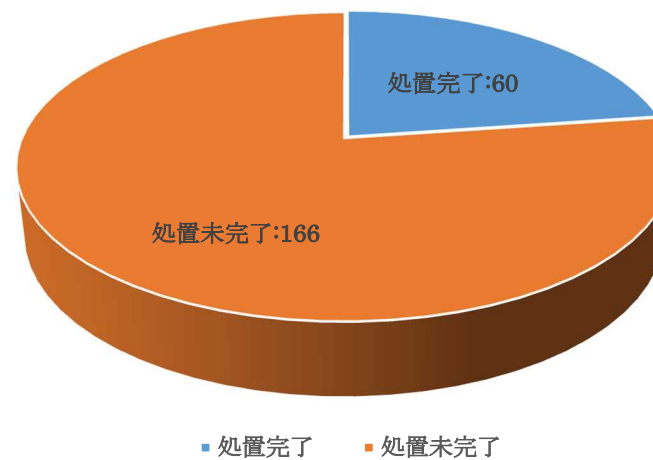
以上

福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 2018年度第3四半期分  
(2018年10月1日～2018年12月31日)

不適合件数(グレード別)



処置状況

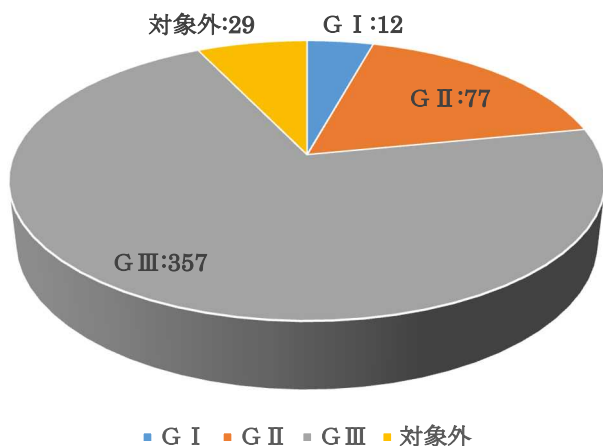


グレード	不適合件数
G I	1件
G II	17件
G III	203件
対象外	5件
総計	226件

グレード	処置完了	処置未完了
G I	0件	1件
G II	1件	16件
G III	54件	149件
対象外	5件	0件
総計	60件	166件

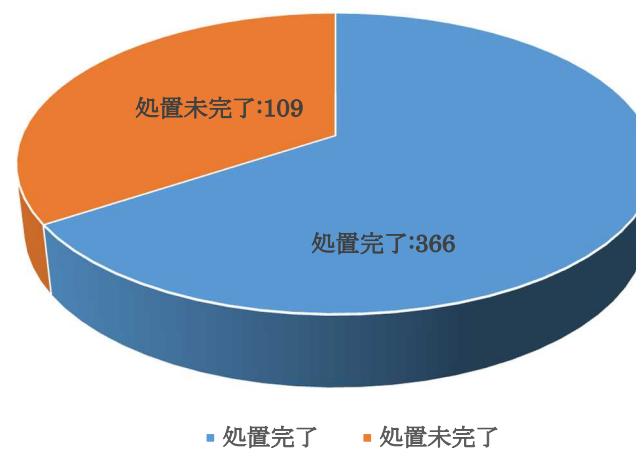
福島第一原子力発電所不適合発生・処置状況 ホームページ掲載以降の過去分  
(2017年8月1日～2018年9月30日)

不適合件数(グレード別)



グレード	不適合件数
G I	12件
G II	77件
G III	357件
対象外	29件
総計	475件

処置状況



グレード	処置完了	処置未完了
G I	5件	7件
G II	60件	17件
G III	272件	85件
対象外	29件	0件
総計	366件	109件

2018年度不適合詳細（委員会確認日：2018年10月1日～2018年12月31日まで）  
（不適合管理グレード I に関わる件名を抜粋）

G I グレード：1件

No	件名	委員会 確認日	グレ ード
1	【型枠解体作業中の両足負傷について】 水路復旧工事において型枠解体作業中、倒れてきた鋼製型枠に両足を挟まれ負傷。 構内救急医療室にて両足脛骨骨折と診断。救急車にて構外医療機関へ搬送。	2018/12/18	G I